

スイッチ大手の  
メトロール視察

枝野経産相

【立川】枝野幸男経産相が2日、精密位置決めスイッチを開発販売するメトロール(東京都立川市、松橋卓司社長、042・527・327

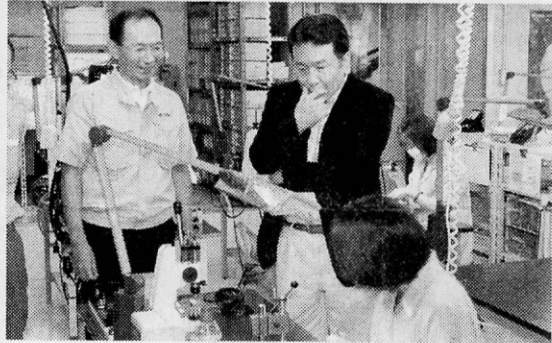
8)を視察した。同社の工作機械の刃先位置決めスイッチは世界シェア7割を握る。海外向けの売り上げが全体の55〜60%を占めるなど海外展開に力を入れている。

製造現場では女性パート社員が700種のスイッチを作る様子を見学。

松橋社長が

「今日入社した新人でも組み立てられるよう生産治具を作り込んだ。高品質のスイッチを少量多品種で作分けける秘密」と紹介すると、枝野経産相は「この生産技術は海外もまねできない。世界の

メトロールを視察する枝野経産相(左は松橋社長)



機械装置の品質をここでつくられているスイッチが支えているのか」と驚いていた。

立川の製造業を視察

■枝野幸男経産相 2

日、東京都立川市にある精密センサー製造のメトロールを視察し、「日本の高い技術をもとに海外展開を進める良い事例になっている」と述べた。同社は工作機械などに欠かせない高精度センサーを製造。インターネット販売でコストを下げずに海外需要を開拓している。従業員の手作業による細かな製造工程を視察した。松橋卓司社長は「大臣から激励され我々の士気も上がった」と語った。